

第 2 回 黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会 会議録

◇開 会 令和 8 年 6 月 8 日 (月) 午後 7 時 3 0 分

◇閉 会 令和 8 年 6 月 8 日 (月) 午後 8 時 3 0 分

◇会 場 春日福祉センター「ハートフルかすが」

- ・委員長 山川 茂則 ・副委員長 荻野 匡俊
- ・出席委員 荻野 利直 婦木 巧 駒谷 謙 宇野 一鷹
足立 賢太 河津 貴司 谷口 大貴 芦田 直弥
長井 博史 渡辺 克己 安達裕理子
- ・欠席委員 なし
- ・識見者 小田 敏治

〔事務局〕

- ・教育部長 山本 浩史
- ・学校教育課長 小森 真一
- ・教育総務課長 足立 安司
- ・こども育成課長 西山 健吾
- ・教育総務課副課長兼企画総務係長 前田 大志
- ・こども育成課アフタースクール係長 澤瀉 良孝
- ・教育総務課学事係長 福垣 恵介
- ・教育総務課学事係 中村 幸
- ・教育総務課企画総務係 山口 智也

次第

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

1 開会

皆様、こんばんは。それでは、定刻となりましたので、ただいまより第 2 回黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会を始めさせていただきます。

本日の資料につきましては、机上に配付しております次第とホッチキス留めで配付しております資料 1 と 2 となっております。お手元に資料の不足等ございませんでしょうか。

それでは、毎回のことではございますが、委員の皆様にお願ひ事項が何点かございます。

1 点目につきましては、会議の発言についてです。ご発言の際には職員がマイクを持ってまいりますので、お名前を発せられてからご発言をいただきますようお願いいたします。会議録の作成にも影響しますので、マイクを通した発言にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に 2 点目でございます。本日の会議は公開となっております。また報道関係者による写真撮影がある場合もございますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

最後に 3 点目です。会議の終了時刻についてですが、会場は 22 時に閉館となっております。後片づけもありますので 21 時 30 分には会議を終えたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

それでは、以降の進行につきましては委員長よりよろしく願ひいたします。

(委員長)

皆さん、こんばんは。梅雨に入り、季節的にも健康を維持するのが難しいような季節となっております。体調管理にはしっかり気をつけていただければと思います。

今日は第 2 回の黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会ということで、よろしく願ひしたいと思います。

次第

2 前回会議について

(委員長)

それでは、次第に則り進めていきたいと思います。まず、前回の会議について、事務局から説明をお願いいたします。

(山口教育総務課企画総務係)

失礼いたします。教育総務課の山口と申します。

それでは、4月30日(木)にお世話になりました第1回準備委員会につきまして、資料1の会議録に沿って振り返りをさせていただきます。

また資料として添付しております会議録は要点記録になり、全体の会議録につきましては市のホームページにおいて掲載しておりますので、後ほどご確認くださいと思います。

まず内容としまして、本委員会の設置要綱、傍聴規則について事務局から説明をさせていただきました。その設置要綱に基づきまして、正副委員長の選出を委員の互選によって行い決定しました。

続いて、報告・協議事項の(1)これまでの協議経過及び今後の協議・調整事項ということで、春日地域市立小学校統合検討委員会での協議経過、船城小学校児童の意見聴取の結果報告、統合に向けた今後の予定について事務局より説明を行いました。

次に、統合後のアフタースクールについて、市の方針として1つの小学校区に1箇所のアフタースクールを開設していることから、統合校区に1箇所のアフタースクールを設置すること、統合後の使用校舎が黒井小学校となるため、現黒井アフタースクールの使用を検討したところ、老朽化や収容人数等で課題があるため黒井小学校東校舎を改修し移転することを事務局から提案させていただきました。

また、近隣の道路状況を考慮した安全対策、利用児童・保護者の方の利便性向上のため、移転後のアフタースクール周辺の改修工事についても事務局から説明を行いました。

委員の皆様からの意見として、近隣道路が狭いという課題があるため、市道鳥ヶ奥線の拡幅を検討してほしいという意見や近隣道路の混雑状況が予想されることから、様々な安全対策を講じる必要があるという意見をいただきました。

事務局としては、送迎時における安全対策は重要な課題の一つであると認識しており、道路担当者等と協議し、街灯・道路標識の設置等の安全対策に取り組んでいく旨を報告しております。

その他、アフタースクールの場所が学校から近いほうが保護者としては安心でき、子どもを優先に考えると原案のとおり進めるべきという意見をいただき、この意見に賛同される方が多数あったため、アフタースクールの場所については原案のとおり黒井小学校東校舎の場所に移転することについて承認をいただきました。

次に、船城地区児童の通学支援について、当初、事務局では路線バスによる通学支援を検討しておりましたが、道路状況等により路線の新設ができなかった旨を報告し、スクールバスによる通学支援を事務局から提案しました。

車両については、マイクロバスではなくワゴンタイプの車種として、その車両を2台で2往復することを提案し、具体的なバス停の場所・運行ルート等については、今後、船城地区内の関係者との協議により決定する旨を報告しました。

この件についての主な意見としては、近隣道路の信号機の設置を検討した方が良い箇所もあり、実現可能かは不明だが、実現に向けて学校として要望してはどうかという意見をいただきました。

車両の車種については、2台で2往復とすることについて一定の理解を得られたと認識しておりますが、一旦持ち帰り、第2回の委員会において報告する旨を確認しております。

最後に、統合に向けた学校の取組について、令和8年度の船城小学校と黒井小学校の交流事業について、黒井小学校、船城小学校それぞれの校長先生よりご説明いただきました。

以上のような事項について報告、協議いただき、今後は、アフタースクール利用者や登下校児童等の安全対策について話を進めていくことで、第1回目の委員会が終了しております。

簡単ではございますが、前回の会議の振り返りについては以上になります。

(委員長)

ありがとうございました。

前回の振り返りについて、報告いただきましたが、ご意見やご質問等はいかがでしょうか。

事務局に確認ですが、前回の委員会においてご意見、お問い合わせについて、開催通知にメールアドレスを記載していただいておりますが、何かご意見等ありましたか。

(山口教育総務課企画総務係)

現時点で問い合わせ等はありません。

(委員長)

ありがとうございます。その他、ご意見、ご質問等ございませんか。

次第

3 報告・協議事項

(1) 黒井小学校児童の意見聴取について

(委員長)

続きまして、報告・協議事項です。(1) 黒井小学校児童の意見聴取について、事務局から説明をお願いいたします。

(小森学校教育課長)

失礼します。学校教育課の小森です。

私から、黒井小学校児童への意見聴取について報告します。

前回、準備委員会で報告させていただきましたとおり、5月12日(火)、13日(水)、14日(木)の3日間、学校教育課の職員が黒井小学校の教室にて子どもの意見を聞き取りしました。5月12日は6年生と3年生、5月13日は1年生と2年生、5月14日に4年生と5年生、それぞれ1時間ずつ授業時間をいただきました。教室では、校長先生をはじめ担任の先生や他の先生方も一緒に見守っていただき、子どもたちが意見を言えるよう、また書いたりできるよう支援していただきました。

聞き取りについて実施した流れに沿って報告します。

事前に、5月12日に校長先生から全校生徒に対して学校統合に向けてのお話をされておられましたので、児童は全員知っている状態で始まりました。校長先生から話を聞く前から学校が統合することは知っていたのかと尋ねました。結果は、ほぼ全ての子どもが知っておりました。誰から聞いたのかと尋ねると、家族という答えが大半でした。そこで、2月の新聞記事を見せながら現時点で決定していることとして、1つ目、令和10年度から1つの学校になること、2つ目、場所は黒井小学校とすること、3つ目、校名は黒井小学校とすることの3点を伝えました。子どもたちからは、校長先生から聞いたり、家族から聞いたりしていたため、驚いたり、ざわついたりする様子は見受けられませんでした。

では、なぜ学校統合をすることになったのかと問うと、子どもの数が少なくなったという回答でした。どこの子どもの数が少なくなったのかと問うと、大半は船城小学校と回答し、一部、黒井小学校と船城小学校と回答する子もいました。そこで、それぞれの小学校の子どもの数の推移を説明しました。説明の際に提示する資料は、できるだけ簡潔な言葉で、ぱっと見て把握でき

る図や絵を用いて構成しました。低学年でも分かるようにルビを打ったり、あるいは指で押さえたりしながら説明するよう心がけました。

最初に、黒井小学校の在籍児童数の推移を棒グラフで示しました。以前は黒井小学校に 250 人もいたことへの驚きが大きかったです。5 年後の黒井小学校の児童数を予測させると、今後は増えていくと予想する児童が最も多く、今とあまり変わらない、今後は減っていくという順番で予想がありました。5 年後には黒井小学校の 50 人近く児童数が減る予想ということを知って、子どもたちは随分驚いていました。

次に、船城小学校の在籍児童数の推移を棒グラフで示しました。中には、船城小学校の概ねの在校児童数を知っている子もいましたが、全体的に黒井小学校よりも 100 名以上少ないことに驚いている児童が多かったです。25 年前からの推移としては、黒井小学校と同様の減少傾向にあったので、そんなに減っていることに驚きは見られませんでした。

続いて、普段、黒井小学校の子どもたちは 1 クラス 25 名から 35 名程で過ごしていますので、船城小学校の児童数をより感じ取らせるために、教室にどれぐらいの子どもがいたのか、今どうなっているのかをイラストで図示して比較しました。子どもたちの反応は、棒グラフを示した時より大きな声で「とても減っている」という反応が見られました。クラスの人数が数名だった場合、今の学校生活とどんな違いがあるのかをペアやグループで考えさせる時間を取ってみました。子どもたちは鬼ごっこができない、サッカーができない、係活動や給食当番が大変になりそう等、自分が日々過ごしている学校生活との違いをイメージしていました。高学年になると、授業で意見が偏って発想が広がらない、友達に入りにくいとか、喧嘩するととても気まずくなりそう等、低・中学年のイメージからさらに深めて自分がどんな困り事を抱くのかを想像しておりました。

地域の大人が学校統合を決めた主な理由として大勢で勉強したり、遊んだりする方が成長できるなら統合を進めてやりたいであるとか、ずっと数人で勉強したり、生活したりするのは寂しいと思うという意見が多かったことを説明すると自分たちと同じような意見が多いと感じたのか、中・高学年では頷いて聞いている子どもが見られました。

1 年生から 4 年生は、令和 10 年度に学校統合した時に児童数がどの程度増えるかを図で表し、子どもたちにイメージを持たせました。統合することを知っていたこともあり、どの学年もクラスの人数が増える図を示しましたが、特に驚く様子はありませんでした。

次に、学校統合をすると自分のクラスの人数が増えることについて、楽しみな気持ちや不安な気持ちを尋ねるため、気持ちのメーターとしてネームカードを黒板に貼って表す活動を船城小学校と同様に行いました。自分の気持ちの表し方としては、一番右が「嬉しい」、一番左が「心配」、真ん中は「嬉しい気持ちもあるし心配な気持ちも半分半分」等で中間の気持ちも表せるようにしました。1 年生から 3 年生は、一番右の「楽しみ」と貼った子が最も多く、4 年生・5 年生は、真ん中の「楽しみ半分、不安半分」というのが最も多く貼っていました。6 年生は、大半が「楽しみ」になっています。「楽しみ」と答えた児童にその理由を尋ねると「友達が増えるから」、「仲が良い子がいるから」、「こども園が一緒だったから全員知っている」等が多く聞かれました。「楽しみ半分、不安半分」と答えた児童にその理由を尋ねると「こども園の友達がいるけど知らない子もいる」、「友達が増えるのは良いけど喧嘩が増えそう」であるとか、「久しぶりに会う友達に覚えてもらえているのか不安」等の意見がありました。「不安」だと答えた児童にその理由を尋ねると「教室が窮屈になってしんどそう」というのが多く、「人数が増えたら一輪車の取り合いになりそう」、「給食がおかわりできない」というような意見が若干ありました。

学校統合について、船城小学校の友達はどうに感じているのか代表的なものを幾つか紹介しました。船城小学校にも不安な子もいれば、楽しみにしている子、楽しみと不安が入り混じっている子がいることを知らせ、自分たち同様、色々な受け止め方をしていることを感じ取らせました。その時にイラストに吹き出しをつけて示しました。低学年や中学年は「これは船城小の〇〇君やろか」、「〇〇ちゃんやと思う」等想像を膨らませて子どもがイラストから実在する船城小の友達を重ねていました。同じような学習をしていることや一緒に活動するのを楽しみにしてくれること等をイメージして盛り上がる場面でした。このような反応があることは、私は予想しておりませんでしたので、教室全体にあのような意識がぐっと高まったのも、印象的な瞬間でした。

次に、大人がいつからどのように話し合ってきたのか説明しました。3年前から地域の大人が集まって何度も話をしてきたことが子どもたちに理解できるように双六方式で示しました。子どもたちからは「そんな前からたくさん話し合いしてきたのか」というつぶやきがありました。

次に、直近の4月28日の話し合いでは「どうやって通学するのか」、「どうやって安全に通うことができるのか」、「アフタースクールはどうするのか」、「仲良くなるためにはどんな交流をすればいいのか」等について話し合えたことを伝えました。

最後に、今日聞いた色々な意見を大人の話し合いの場で私が伝えることを言いました。多くの子どもが納得したような表情があり、中には「ありがとうございます」や「お願いします」と言う子どもも数人いました。

黒井小学校の子どもたちから聞き取った意見は以上です。

(委員長)

ありがとうございます。

今、事務局から報告がございましたが、この件についてご意見やご質問等ございますか。資料はありませんので、口頭のみでの説明になりましたが、お聞きになりたいこととかございませんでしょうか。

ございませんか。なければ次に進みます。

次第

(2) 船城地区児童の通学支援（スクールバス）について

(委員長)

続いて(2) 船城地区児童の通学支援（スクールバス）について、お願いいたします。

(福垣教育総務課学事係長)

教育総務課学事係の福垣と申します。

船城地区児童の通学支援について、前回の準備委員会でスクールバスの通学でスクールバスの形態についてはワゴンタイプを採用したい旨でご説明させていただきました。第1回統合準備委員会では、ある程度、ご理解いただいたと認識しておりますが、地域に持ち帰って協議をされたいということでしたので、その結果を踏まえてこの委員会で最終決定とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員長)

すみません。先に確認する必要がありますね。

只今のスクールバスについて、今回はワゴンタイプの車種で了解を得たように思っておりますが、それでよろしかったですか。意見ございませんか。

(意見等なし)

では、ワゴンタイプの車種で話を進めていきます。よろしくお願いします。

(福垣教育総務課学事係長)

ありがとうございます。

続いて、委員会後の進捗状況についてご説明させていただきます。まず、船城地区についてですが、5月の下旬に船城小学校へ出向き、校長先生、教頭先生と協議させていただきました。協議内容については、スクールバスで調整させていただくことを前提にバス停と運行ルート案を示させていただいておりますが、それを固めていきたい旨をご説明させていただきました。ただ、バス停等の運行ルートについては、当然PTAの方や地域の方の意見も参考に決めていく必要があります。また学校からPTAや地域に相談させていただく中で今後、固めていきたいと考えております。正式にルート案ができましたら検討し、できるだけ地域の意向を踏まえて決定していきたいと思っております。その他、特にバス停までの経路で安全対策が必要な部分があれば、ご意見いただき対応していく流れになります。

続いて、黒井地区ですが、こちらも街中をバスが運行することに伴い、5月15日に黒井区の自治会長会があり、そちらの方にアフタースクールの件もあったため、こども育成課と教育総務課が参加し、説明させていただきました。その中で、アフタースクールも当然、送迎の経路が関係するため、合わせて地域の意見をたくさんいただきました。道路に関するご意見が多くありましたので、教育委員会で速やかに判断できないため、建設部と関係各課と協議している段階になります。こちらの件も地域の意向をできるだけ踏まえた上で、市の方向性が決まり次第、随時報告させていただきたいと考えております。現時点の進捗状況は以上です。

(委員長)

ありがとうございました。

今の報告につきまして、ご質問やご意見ございませんでしょうか。

船城地区の集合場所は、地元優先で検討してもらうことでよろしいですか。

(委員)

地元で決定することについて、質問よろしいですか。

(委員長)

はい、どうぞ。

(委員)

5月15日に黒井区自治会と住民の方が話し合った際に出た意見ですが、仰られたように、まだ検討段階であるため、ある程度の期間毎に地元説明会を実施いただきたい旨の話が出ました。それだけは頭の中に入れておいてほしいです。

(委員長)

事務局、よろしいですか。

(福垣教育総務課学事係長)

一定の方向性が出る都度、説明会を開催させていただきたいと思います。担当課と一緒に同じような案件になりますので、ご説明できればと思っております。

(委員長)

委員、よろしいですか。

(委員)

はい。

(委員長)

他ございませんか。はい、どうぞ。

(委員)

今後、バス停を決めていく中で今後の流れについて、基本的には学校が取りまとめをされるのでしょうか。地域やPTAは意見を出していくという考え方でよろしいのでしょうか。

(委員長)

はい、どうぞ。

(委員)

先日、教育総務課の方が船城小学校に来られた際、教育委員会から各地区の意見を全て聞くのは非常に手間になるため、学校で取りまとめさせていただくと申し上げました。近くにPTAの会と自治会がありますので、その際に私から説明させていただき、停留場所の選定について希望を聞き取りたいと思います。地図を渡して、そこに書き込む形で希望を取るつもりです。

(委員長)

委員、それでよろしいですか。

(委員)

はい。

(委員長)

他ございませんか。なければ次に進めさせていただきます。

次第

(3) 通学児童及びアフタースクール利用者等の安全対策について

(委員長)

(3) 通学児童及びアフタースクール利用者等の安全対策について、事務局から説明をお願いいたします。

(澤瀉こども育成課アフタースクール係長)

失礼します。こども育成課アフタースクール係の澤瀉と申します。

安全対策に関して先ほどもございましたが、5月15日(金)の夜に黒井の自治会長7名と地元住民の方2名、計9名の出席のもと保護者の方のルートに関して資料を提供し、説明させていただいたところです。市としては、非常に狭小な道路が多い場所で、これ以上他にないルート案であるため、一定の了解を得られたところです。過去の黒井小学校の改修工事、耐震化工事の際に様々な状況等について、地元住民からの説明、近隣にお住まいの方からも様々な要望等もお聞きしたところで今後、市の関係課等で具体化に向け協議して進めていくことで了承を得ています。また、今後の進捗、一定の方向性が出た際には、改めて15日の会議のように共有させていただくことについても了承を得て、随時進めていきたいと考えております。その結果等に関して統合準備委員会で報告させていただく流れになると思います。安全対策は色々ありますが、具体的には今後調整が必要になりますので、本日は具体的なことまでは申し上げられませんが、また追って報告させていただきます。

続いて、資料として配布しておりますのが、黒井小学校の位置を図面でお示しさせていただいております。

ホッチキス留め資料の最終ページにありますのは、前回の委員会において、ご説明させていただいたもので桃色に着色しております部分が東校舎の実際にアフタースクールとして転用するエリアになります。中央付近の60㎡と記載しているこの2室が低・中学年用の部屋と考えており、その右側の約半分程の大きさの32㎡の部屋を高学年用の部屋で示しています。合わせて支援室用の事務所、詰所、更には新たにトイレをこの図の左下の入り口の横に新設することを考えています。また、この図面では特に具体的にお示ししておりませんが、桃色に着色している下側は南側になり、屋外の通路になっているスペースがあります。ここを屋内化し、各部屋を行き来できるように改修します。

工事開始は、来月中旬には業者を決定し、その後、委託業者とともに本格的に一斉に着手する流れになり、来年1月には設計書等が完成する予定です。工事に関しては、令和9年度に予定しておりますので、また具体的になりましたら、この場で報告させていただきたいと思います。説明は以上です。

(委員長)

ありがとうございます。

(澤潟こども育成課アフタースクール係長)

今の報告・説明でご意見、ご質問はございませんでしょうか。

1点よろしいですか。このアフタースクールを開設する時、駐車場と教室の境は現状のままになりますか。少し段差があり、車が突っ込んでくる可能性もありますが、いかがでしょうか。

黒井小学校東校舎の建物と駐車場の間には、約1メートル弱の段差が確かにあり、児童は駐車場側から通学バスを降り、階段等を設置する上で教室側に上がることを考えています。また、駐車場に関しては5月15日の説明会で色々と話を聞いており、入り口部分を拡張することも考え、舗装等も一部施工する予定にしているため、教育委員会事務局内で今後協議する予定です。

(委員長)

ありがとうございます。

そしたら、他ございませんでしょうか。委員どうぞ。

(委員)

アフタースクールへ向かう経路ですが、一方通行ルートを逆にした方が行きやすいと思います。やはり車を運転する人にとって右折するのは結構大変です。あと、私の子どもはアフタースクールに通っていないため、迎えの時間帯は少し分かりませんが、近くにこども園もあり、氷上高校もあるため、フジヤホテルからこども園のお迎えに上がってきて右折するのが、結構帰りの車とぶつかって右折しにくいのではないかと少し思いました。黒井の方はよく通られると思うので、少し意見を聞きたいです。

(委員長)

はい、どうぞ。

(委員)

今、委員から意見がありました経路をいつも通行しておりますが、車の通りが少ない道路です。確かに氷上高校の方から車が来ることはありますが、そんなに途切れないほど来ることはほとんどありません。右折に関しては問題なくできるのではないかと思います。右折した先はとても細い道です。対向車が来ると結構ギリギリになる道ですので、そこが少し懸念点かと思います。

あともう1点、その道から黒井小学校に向かって進むと黒井小学校に上がる十字路がありますが、その道はとても狭いです。そこも見通しが悪く、なかなか曲がるのも慣れていると普通に曲がれますが、慣れていない方は少し危ないと思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。委員どうぞ。

(委員)

先ほどの話と少し関連して提案です。1点は認定こども園から東側に回る箇所にロードミラーを設置するよう自治会から数年前に市に要望したところ却下されました。できれば強引に設置するよう市民安全課と調整いただきたいです。

もう1点。先ほど、アフタースクール利用児童の迎えの際、氷上高校生の下校生徒と重なる場合があります。可能かどうか分かりませんが、氷上高校生の徒歩下校のルートが二手に分かれています。一つは認定こども園の方に向かう道、もう一つは黒井駅前まで直進で歩ける道を通っています。これを可能であれば、認定こども園側の道を通るように県の教育委員会に掛け合ってもらえるのか分かりませんが、可能な範囲でお願いしてほしいです。歩いている氷上高校生は2列、3列ぐらいになるため、車は通りにくいと思います。要望ですが、お願いします。

(委員長)

ありがとうございます。これは要望で良いのか。

(澤瀉こども育成課アフタースクール係長)

先日の説明会の際にロードミラーの件は聞いており、氷上高校生の話も出ておりましたので、今後、関係機関と調整したいと思っております。

(委員)

ちょっと強引にお願いします。なかなか難しいと思います。

(委員長)

はい。その他ございませんか。どうぞ、委員。

(委員)

先ほど少し聞き逃してしまったのですが、スクールバスのルートについて、先ほど校長先生から説明がありましたように小学校で取りまとめていただけるとのことで、いつまでにまとめる必要があるのか、スケジュール感について伺いたいです。

あと、校長先生が取りまとめると言われたので、この会議で決めずに学校と地域とのやり取りで決められると思います。バス停の設置に関して様々なルールがあると思いますが、この件についての説明やどのようにバス停やルート等が決まるのか、少し教えてください。

(委員長)

はい、委員。

(委員)

まず、スケジュールは、6月11日にPTAの会議がありますので、そこで依頼させていただき、その結果を7月末ぐらいまでに学校で取りまとめると先ほど申し上げました。地区によっては、現在、PTAがおられる地区とおられない地区がありますので、一律に自治会長会にお願いして自治会長さんからPTA現小学校4年生以下の保護者の方と連絡を取って、各自治会で1つの停留場所を決めてほしいと自治会長さんをお願いしようと思います。自治会長さんはPTAの方と連携を取っていただき、地図に1箇所書き込んで学校に持ってきていただくようお願いするつもりです。現在、児童がいない地区についても、とりあえず停留場所は決めておき、今後転入の可能性もありますので、その際にスムーズにバスルートが決められるように停留場所は決めておこうと思っています。

(委員長)

ありがとうございます。委員、よろしいですか。

(福田教育総務課学事係長)

少し補足させていただきますが、バスの停留所を決めていただくに当たり、基本的にUターンすると様々な事故の危険性があるため、Uターンの必要がない場所で選定いただきたい旨を学校に伝えております。また、バスは左側から乗降しますので、そのあたりも踏まえて設定いただくことと基本的に自治会に1箇所と考えておりますが、校長先生からいただいた意見で朝日地区については国道を跨いで2箇所なければ、どうしても国道を渡る危険性があるため、安全上2箇所ある方が望ましい箇所については、2箇所の設置も仕方ないのではないかと考えております。

(委員長)

他にございませんか。よろしいですか。

船城地区の朝日地区に2箇所のバス停設置は、どのように設置されるのですか。往復時のことを考えると難しいのではないかと。

(委員)

バスルートの地図を見ると朝日地区は、国道を挟んで南側と北側で集落が分かれていますので、どうしてもバス停留所を1箇所にすると、どちらかの子どもは国道を渡る必要があります。近くに信号がありませんので、非常に横断は危険であるため、近隣を回る形のバスルートを組むことで国道を渡らなくて済むと考えました。

(委員長)

ありがとうございます。他ございませんでしょうか。

(委員)

アフタースクール利用者の経路について、代わりの経路を提案させていただきます。先ほど、黒井小から下りた箇所は曲がりづらいと意見がありましたが、そのまま南側へ下って行くほうが、見通しが良く北側に上がっていく方も見通しが良いです。また、所々で道幅が広い箇所もありますので、行き違いがあってもしやすいと思います。

あと1点、農協傍の信号機のある十字路の箇所、地元の方は分かると思いますが、その道から黒井小学校に上がる箇所は排水溝があり、若干段差になっているため、車が斜めになります。できれば、あの場所を2台通れるようにしていただきたいです。現況、黒井小側から1台信号待ちの車があると、もう1台は入りにくく、段差を乗り越えながら通るしか通れません。そこをできれば工事していただき、2台すれ違いで通れるように道幅を確保できれば信号もあり、安全であるため、そちらの方がスムーズに行けるのではないかとこの提案です。

(委員長)

はい、どうぞ。

(委員)

先ほどの農協から北側へ向かう道の件ですが、2年前に黒井区の自治会と横町の自治会長で2回目の道路拡幅の要望を建設部に出しております。市側は、なかなか進めておられないため、学校統合を機会に少し強引に行政側も働きかけていただきたい。

(委員長)

その道は、少しカクカクしていますね。

(委員)

そうです。丁度歩道があつて狭いです。道をもっと広げるように要望を出したところです。10年程前にも要望書を提出し、今から2年少し前にも提出したところです。

(委員長)

現在、ルートについて話をいただいているが、やはり資料での説明だけでなく、直接現場に行つて確認していただくような機会を設けていただければと思いますが、いかがでしょうか。

(澤潟こども育成課アフタースクール係長)

委員から提案いただいた黒井小学校の下の十字路を真っすぐ下りる道を実際に通ってみました。何度か曲がらなければいけないこともあり、夜間に通ることを考慮すると非常に死角になる箇所が多いです。東から西方向へ向かう仲町あたりが、最も道幅が広がるため、黒井小学校から水平に東西方向に結んでいる市道に車を誘導する方がより安全と考えた経緯があります。

先ほど説明させていただきましたように地元説明の中で様々なご意見を賜ったところですが、このルートに関しては特に異論は出ていない状況です。また、農協前の市道の傾きについて、過去に私も道路担当部署に在籍していたため、よく存じておりますが、非常に工事がしにくい場所でもあり、様々な要因からこれまで工事の実施に至っていない経過があります。再度調整していきませんが、特に黒井小学校下手の十字路からのルートに関しては、提案しておりますルートが安全面では最も良いルートと考え、選定させていただいた経緯もありますので、可能であればこのルートのとおりで進めさせていただければと思っております。また、地元説明会時に自治会長だけでなく地元住民の方にも参加いただいております。安全対策は共有して一通り確認いただいておりますので、一旦この協議についてはお預かりさせていただきたいと考えております。

今の回答でよろしいですかね。はい、どうぞ。

検討していただき一番良い方法にしていいただければと思いますが、街中の道路は路上駐車が多いです。私も普段通っておりますが、車が1台止まっていると1台しか通れない状態がとても多い道路でもありますので、そこを考慮いただきたいのと経路の中でも道幅が異なる箇所もありますので、そちらもしっかりと検討いただければと思います。

ありがとうございます。他ご意見ございませんでしょうか。
はい、どうぞ。

自治会内に1箇所のバス停設置を基本とするが、朝日地区は2箇所のバス停を考えても良いと柔軟に考えていただいていることは、自治会としても大変ありがたいと思っております。校長先生の話があったように自治会内の真ん中に国道が走っておりますので、国道の近くで子どもたちが集まることは大変危険だと認識していただいていることはありがたいのですが、車が停まる場所は、登校時と下校時で全く同じ場所ではないと思います。バス停1箇所にA地点とB地点に停まると認識して良いのか。

事務局、お願いいたします。

バス停については、同じ運行ルートを通りますので、登校時も下校時も同じバス停、地点で降りることになります。

バス停が2箇所あるということですか。

国道の南側で1箇所、北側で1箇所、設置することを考えています。

はい。わかりました。

バス停設置のルールのことでも委員から質問いただいております件で少し補足しますと自治会内で1箇所決めていただくことになりますが、あくまでも自治会として決めていただくので、個人の家の前等ではなく、バス停の位置は今後ずっと変わらない場所を選択いただきたいと思いますと考えております。

他ございませんでしょうか。はい、どうぞ。

学校統合アドバイザーの小田です。

先ほどの黒井小学校児童の送迎、アフタースクールの送迎経路又はスクールバスの運行経路について、恐らく委員の皆さん同じ地図を想像しながら議論いただいていると思いますが、委員さんもPTAや地域へ帰ってから説明をしなければならない時もあると思いますので、全員が出席可能か分かりませんが、調整させていただき、早朝又は夕方の時間帯で現地に集まって実際に車を走らせながらの現地調査を一度計画してみてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

今、アドバイザーからご意見いただきましたが、いかがでしょうか。

なかなか皆さん全員の参加は各委員の都合もありますので、難しいと思いますが、現地調査をする日を決めて実施してみてもいいと思います。それで検討してよろしいですか。

(各委員異議なし)

(委員長)

はい。それでは、実施の方向で検討してみたいと思います。
ありがとうございます。その他、ございませんでしょうか。

次第

(4) その他

(委員長)

それでは、続いて3の(4) その他ですが、事務局から何かありますか。

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

特にございません。

(委員長)

はい、分かりました。ありがとうございます。
それでは、皆さんから全体を振り返って何かありますか。

次第

4 次回の委員会の日程について

(委員長)

なければ次第4です。次回の委員会の日程について、お願いいたします。

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

それでは、次回の日程ですが、先ほどから協議いただいたように細かな調整になりますので、黒井小学校近隣道路の現地調査に合わせ、春日地域検討委員会の開催も踏まえて調整させていただければと思います。

全体会は7月又は8月頃を予定とし、準備委員会は9月7日から14日あたりで調整できたらと思います。それまでに現地調査や船城地区児童の通学支援のルートのこと各各地区で協議いただいて、この場で共有いただければと考えております。

少し先の予定になりますので、今の時点で都合が悪い日がありましたらこの場で教えていただけますとその日をできるだけ外して正・副委員長と協議させていただければと思います。皆さん、ご都合いかがでしょうか。

(委員)

今回の準備委員会だけでなく春日地域全体の統合検討委員会の開催が遅くなると委員も1年で大きく代わることもあるので、早めに開催する必要があると考えています。将来的な結論がどうなるか分かりませんが、例えば、以前の会議のグループワークの際に意見としてあったように1校に統合した場合、恐らく新校舎の建設が始まります。国からの補助金の関係で、国も今、大変な状況になっているので、早めに手を打つ必要があると思います。

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

春日地域全体会については、事務局としては7月又は8月中に一度開催できればと思っております。日程調整している最中ですので、後日案内させていただきたいと思います。

(委員長)

春日地域の検討委員会については7月中旬に開催予定ということで日程調整をお願いします。

(委員)

9月7日は予定が入っております。

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

はい、分かりました。
それでは、9月7日は外して日程調整をさせていただきたいと思います。

(委員)

できるだけ早いうちに決めてほしいです。できれば前の月には決めていた

できると助かります。

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

日程のほうは、早めに決めさせていただきたいと思います。

(委員長)

準備委員会の開催は9月7日を省いて14日までで調整いただきます。

全体を通して何かございませんか。

それでは、本日の委員会の議題は全て終わりますが、随時ご意見等ありましたら開催通知に記載のありましたメールアドレス又はFAXにて事務局に連絡いただければと思いますので、よろしくお願いします。事務局から何かありますか。

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

特にございません。

(委員長)

それでは、なければ今日は少し早めに終わりますが、副委員長から閉会の挨拶をよろしくお願いいたします。

次第

5 閉会

(副委員長)

お疲れのところ、また雨で足元の悪い中ご参加いただきまして、ありがとうございました。

冒頭、委員長からありましたように、梅雨に入り体調管理が難しい時期になっております。それぞれ体調にはお気をつけいただきまして、各立場でご活躍いただけたらと思います。また今後ともお世話になりますが、よろしくお願いいたします。